備　前　市　事　務　事　業　評　価　シ　ー　ト

（平成25年度事業）

事業の概要

事業開始年度		昭和２６年		根拠法令・例規等	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律などの一部を改正する法律	
総合計画	大項目	基本構想	04	土台となる政策「安全・安心」	問合先	担当課（室）	保健課
	中項目	基本計画	06	誰もがいつまでも安心して暮らせるまち		職・氏名	健康係長・江見清人
	小項目	施　策	23	生涯を通じた健康づくりの推進		電　話	６４－１８２０
事務事業名			15	結核予防事業	このシート作成に要した時間		時間

Plan

事業の目的

対　象（誰・何に対して）	備前市在住で、職場や学校で受診する機会のない15歳以上の市民。
目　的（何のために）	昭和26年に制定された結核予防法に基づいて検診を実施していたが、平成19年4月に結核予防法が廃止され、6月からは改正感染症第五十三条に基づいて、結核感染者の早期発見と感染予防に努める。
事業の意図する成果（どのような状態にしたいのか）	結核を早期発見し、早期治療に結びつけることで重症化を防ぐと共に感染を予防する。

Do

事業の実績

目的を達成するため実施した事業

細事業名	事業の説明	優先度
結核予防事業	備前市各地区をレントゲン撮影台搭載車で巡回し、胸部間接撮影を実施する。	◎

決算額

事業費等		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
事業費	直接事業費	千円	4,159	3,697	3,529
	必要人員	人	0.02人	0.02人	0.02人
	必要人件費	千円	134	143	178
	事業費計	千円	4,293	3,840	3,707
財源	国県支出金	千円			
	受益者負担	千円			
	繰入金	千円			
	市債	千円			
	その他（　）	千円			
	一般財源	千円	4,293	3,840	3,707
受益者負担比率		%	－	－	－

結果指標

結果指標名	単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
説明		結核検診受診者数		
結果指標量	人	4,856	4,314	4,113
対前年比	%	－	88.8%	95.3%
活動コスト	円	4,293,000	3,840,000	3,707,000
単位当たりコスト	円	884	890	901

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の成果

成果指標名	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度目標値
結核検診受診率	目標値（A）	50	50	50	50
	実績値（B）	28.7	25.6	24.4	到達目標値
	達成率（B/A）	57.40%	51.20%	48.80%	50

成果指標設定の考え方・式や説明

受診率＝受診数/対象者数
平成23年度28.7%（4856人/16904人）　平成24年度25.6%（4314人/16843人）　平成25年度24.4%（4113人/16867人）

Check

事務事業の評価

該当する項目を□から■へ　＜　■　←「コピー」して「貼り付け」してください＞

妥当性の評価

市の関与の妥当性必要性

- ■ 市が実施するよう法令で義務づけられている
- □ 法令で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす
- □ 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない
- □ 事業の内容が一部の受益者に偏っている
- □ 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている
- ■ 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である
- □ 事業開始当初の目的から変化してきている
- □ 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている

市民ニーズ

- ■ 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある
- □ 市民・団体等から要望・要請が強い

妥当性評価（A 高い / B やや高い / C 普通 / D やや低い / E 低い）：**B**

効率性の評価

コスト手段

- □ 単位当たりコストは前年度と比較して改善している
- □ 実施方法（派遣・委託含）を見直すことでコストを下げる余地がある
- □ 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある
- ■ コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい
- □ 受益者負担率は適正である
- □ 受益者負担率を見直す余地がある
- ■ サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない
- □ 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある
- ■ 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている

効率性評価（A 高い / B やや高い / C 普通 / D やや低い / E 低い）：**C**

有効性の評価

目的達成度

- □ 成果指標の設定は適切である
- □ 成果指標の到達目標値は達成できそうである
- □ 成果指標達成率は前年度と比較して向上している
- ■ 成果指標達成率は80%未満となっている
- □ 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない

市民参画度

- □ 法定事務 ・ 内部管理事務　であり成果は求めにくい
- ■ 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している
- □ 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している

有効性評価（A 高い / B やや高い / C 普通 / D やや低い / E 低い）：**C**

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しな

進行年度（H26年度）の改革改善内容

状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					

説明：結核・肺、大腸、胃がん検診の同時実施を継続し、広く市民にＰＲする。ナイター検診と休日検診も引き続き実施する。広報誌や愛育委員会において検診受診状況や結核について知識の普及啓発を行い、受診勧奨に努める。

総合評価

乳幼児健診や愛育委員会での受診勧奨や高齢者と関わる部署への受診勧奨依頼など市民と関わるいろんな機会を通じて受診勧奨を行っているが、市が実施する結核検診の受診率は年々減少傾向にある。職場や病院など市以外のところで検診を受診されている市民が増加傾向にあるか、未受診者が増加しているか市民の健康に対する意識や行動を把握し、検診実施について検討する必要がある。

総合評価（A 高い / B やや高い / C 普通 / D やや低い / E 低い）：**C**

Action

平成27年度の方向性 ・ 取組目標

方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					

取組目標：結核を含め、市の検診全体の受診率が低迷している現状から、未受診理由や医療費分析など市の健康課題を明らかにする必要がある。健康増進と疾病予防の観点から、市民の健康に対する意識レベルを把握し、意識の向上に努める。